

○国士舘大学 佐藤公俊准教授による講義の様子と生徒の感想



講義名：「いきものと熱の関わり」

☆生徒から講師へのお礼と感想

1年 M.M さん

以前、他大学の見学会では機械工学について学んだことがあります。今回の佐藤先生の講義では、同じ「工学」という分野ではありつつ、違う視点から学ぶことができました。

動物は体毛が長い方が寒さに強いことは知っていましたが、毛が長ければ長いほど沢山の空気をため込み、保温効果が高めることができるということは初めて知りました。生活環境に合わせた動物の体の作りには、「熱移動」が関係しているそうです。立方体を使った放熱量と発熱量の差を数字で見て、「熱移動」についての理解がより深まりました。また、生物の適応の三原則（ベルクマンの法則、アレンの法則、グローガーの法則）は様々な環境で暮らす動物たちの体の秘密を明記したもののように感じました。北極の動物たちが極寒で暮らせる理由を知ったと同時に、動物たちに対する関心も高まりました。

動物の体の作りだけでなく、放湿や吸湿発熱などができる衣服繊維があることで私たちの生活が便利になっていることも学びました。エアリズムの冷感についてはいつも不思議に思いながら調べたことはありませんでした。汗を素早く蒸発させる繊維があったことに驚き、とても印象的に残っています。

今回の講義を通じて、工学は身の回りの沢山のことに関係していることを改めて痛感し、これからの生活での視点が変わる気がしました。今回学んだこと以外でも工学に関する知識を加えていきたいと思います。工学に対して以前より強く興味が湧きました。

この度は有難うございました。

1年 M.H さん

今回は授業をしてくださり、ありがとうございました。

魚の種類によってかたちが違う理由など初めて知ることも多く、とても興味深い授業でした。私は今回、キリンのやけどの話聞いて、なぜキリンの模様には茶色い部分と白い部分があるのかという疑問を持ちました。そこで調べたところ、模様について書かれたサイトを複数見つけることができました。しかし、色について書かれたものは見つけることができませんでした。佐藤先生の授業を受けていなかったら、自分で調べることはもちろんのこと、気に留めることはなかったと思います。

キリンの模様に茶色い部分と白い部分がある理由は解明できているのでしょうか？もしお分かりになるようでしたら、ぜひ教えていただきたいです。

今回は本当にありがとうございました。